## 学 会 よ り大学行政管理 究会で切磋琢磨 大学超えて成長し合う

## JUAMこそ、ピア効果、を体現する組織 学校法人関西大学 はJUAMの様々なイベ すること」のみであり、

学行政管理職員の確立」 ェッショナルとしての大 JUAMは、「プロフ 命している。 る大学改革研究会のアド 年3月に卒業し、同年4 委員会の副委員長職を拝 学行政管理学会(以降、 ある関西大学を20. に設立された学会であ JUAM) では、 歩みをスタートした。大けから大学職員としての 現在の所属大学で る12年目の職員で 後述す Ō も含めた先輩方との交流 ントでの学びや他の大学 その結果、

る。またを寄せ、 る内部組織が存在する。 組織体であり、 研究会もその内の1つで 執筆時点において全国に 究グループである。前者 研究会」や「テーマ別研 会 会が存在する。大学改革 は地域ごとに研究活動を に即した研究活動を行う 行う組織体であり、本稿 「研究会」は、 12の研究 「地区別 ている。 じている。 なる領域の知見を得るC 中で、日常の業務とは異 での仕事も全く異なる様 と連携して計画・運営し なるよう会場校や事務局 とが出来ていると強く感 々な方々と共に活動する 究集会が参加者にとって を踏まえ、定期総会・研 魅力的かつ有意義な場と 味・関心や時宜のテーマ JUAMのコミュニテ 世代も所属大学

12年当時は、私を含 への若手会員と1 会に参画し、 うな方とそ研究会や委員 るかもしれない。そのよくさのようなものを感じ には、最初こそ入りに 一歩踏み出 思う。

万は、上下関係。近畿地区研究 意識を持つ会員と繋がる たい。同じ関心事や問題してみることをお勧めし 味わい深く、有意義なも のになることだろう よって学会の意義を見出

なった。

員であるJ

ことは考えたこともなか 自分が会員になるという

 $\bar{S}_1$ 

ck (スラ

月は、チャットツ

課題発表会までの1

すべきともいえる。し

加したことはあったが、 勉強会に非会員として参

会員の大半が大学職

UAMに入会し、 **0** 年

やってみなさい!」と全 員中心の活動がスター 再度独立させる形で20 実質的に一体となってい 面的な支援をいただき、 究会の開催について相談 当時は近畿地区研究会と 地区研究会の理事の方々 た「大学改革研究会」 したのである。 12年から若手・中堅職 |「委員会」と呼ばれ| 若手を中心とした研 一是非 を の一端を担っている。私 が選出された委員により の一端を担っている。私 金の公募、 営支援、 当してきた。会員の興究集会の企画・運営を担 ミッションとする委員会究・研修に関することを 事、理事、一般公募によ であるる。担当常務理 主に定期総会・研 ③若手研究奨励 ④その他、 15年度から参 研 ナルな大学職員の定義は めである。プロフェショ なるための過程も限定で 多種多様であり、 た、JUAMの目的にあきるものではない。ま 鑚を深める」4ことが、 る「研究」についても多 ェショナルな大学職員に 『職員』相互の啓発と研

なかろうか。 参加, を客観的に捉え、 これまで順調に会員数

たくさんあって、課長面

時短勤務の身でありない

をきっかけに、大学事務に のデジタル化に関心を持

をきっかけに、 大学事務

向けのプログラミング教

ったが、育休中に初心者 にするか考え始めた私だ てから、研究テーマを何

育児との両立のため

携われることになった。 希望していた研究支援に

ちへ広がっていった。 談の場でも話題があちこ

内容を練り始めた。

ようになった。

2021年1月

で、その路線で具体的な

り参加

JUAMでの活動につ 暫く ラン(メンター)でスタ 守ってくださった。約束に一歩下がって活動を見 で若手を一方的に指導す の近畿地区研究会のベテ ある。活動を継承した2 るようなことはせず、

学校法人関西大 関西大学)に っていた。 ントに参加する日々を送

大学改革研究会は近畿の

我々は伸び伸びと活動す

について

ることができた。現在、

か?職能団体か?という

学術団体

咲氏とともに当時の近畿 作りたいという思いを抱 じるようになった。次第プットの連続に課題を感 る学びの場、交流の場を の業務に直結し難いイン に自分自身が必要と考え 会の企画・運営、②地区は、①定期総会・研究集 別・テーマ別研究会の運 ている研究・研修委員会 在は9つの委員会が設け う機関とされており、現諮問により調査研究を行 られている。私が所属し し、全国の大学横断的な践的に研究することを通 様な領域を理論的かつ実 立を目指して、まず の大学行政管理職員の確 ロフェッショナルとして ってきた。それは、 『大学行政・管理』の多 全国の大学横断的な

先輩である五藤勝三氏 自プ

の中で自身の成長を感じ 日々 | 一変員会」は、会長の 研究会となっている?。 枠を越え、 全国各地で多 団体両方の性格を持つ る。私は学術団体と職能ような議論をよく耳にす "学会"であることを願

義的なものであると私は

を伸ばしてきたJUAM

私は入職・一和は入職・一利は入職・一利は入職・一利1200人 以上になった。入会した 拭できるかも 「手持無沙汰な感覚を払経緯を一言で述べれば、 と考えたためである。そ拭できるかもしれない」 当時の業務内容や いつの間にか10年 AMに入会し、会

プロフ

だった。

復帰したばかりだった。 休から2年2か月ぶりに

子の出産に伴う産休・育

私はその年の春、第一

長)との面談がきっかけた上田理子さん(札幌市

のは2020年6月のこ

私がJUAMに入った

とで、当時の上司であっ

見つけた。

での限界を打破するべくいる。そして、日常業務 や既に道を拓いた方も、 考えている。研究を通り JUAMの存在意義では 見据えて学び合う場とそ る。多様な構成員が現状 道を拓くことを目指す方 自己を高めようとする方 て自己を高める方もい 他者との交流の中で し、大学職員以外の 未来を

が見えてきている。近接も近年はその状況に陰り が問われているようにも する組織の台頭もあるが見えてきている。近接 が、JUAMの存在価値 参加し、各々の努力に、会員個人の意思によ 学会である以上

から「それならJUAM

そとでHTML/CSS

ソコンにかじりついた。 方々に交じって2日間 り、様々な業種・職種 に参加できることにな

ミング学習コミュニテ

してみたいです」と言っ

られた。

に入ってみたら」と勧め

月後の発表会までにそれの基礎を学んだ後、1か

の基礎を学んだ後、1

海道支部主催の研究会や

形にしてくるという課題 ぞれが自分のアイデアを

が出された。

奨励研究にもチャレンジあって、いつか科研費の

でみたいという気持ちが

私自身も研究に取り組

「研究支援だけでなく

プログラミングキャンプ市で開催された短期集中

2022年(令和4年)8月24日(水曜日 しても同期であった山咲であり関西大学の職員と 博昭氏(現広島市立大学 答する日々を送ってい 学長付講師)や尊敬する を、学生時代からの友人 た。そのようなモヤモヤ 口になれるのかを自己 努力すれば大学職員の の私は、何をどのように かったためである。当時 ら見つけることができな 力の道筋を日々の業務か いたということではな 業務遂行に不満を抱いて て高みを目指すための努 自身が大学職員とし

> や若手研究奨励制度採択Mに関わり、奨励賞受賞 Mに関わり、奨励賞受賞れまで様々な形でJU^ と組織上の限界を常に念 を高めようと努力して られた時間の中で、 ると私は考えている。 の運営において重要であ 頭に置くことがJUAM る仲間である。その尊さ する側も運営する側も限 私は、先述の通り、こ 自 参 「ピア効果(Peerの2つを併せた効果を の2つを併せた効果を はいる。 う。 上し生産性が向上する と、優秀な他者を見るこ 向上する「学習効果」 とでモチベーションが向 学びも無かったであ 環境が無ければ、現在の とが出来たと感じていリアイメージを拡げるこ 大学院博士後期課程での でもあった。そのような との交流は日々の励みでる。また、同世代の仲間 優秀な他者を見て学 切磋琢磨する環境

いきたい。

1大学行政管理学会(2注釈: : 学会概要、h

random groupings

ア効果 (Peer effe はないだろうか。この環 ct) を体現する組織で ている。 JUAMこそピ まれる環境があると感じ の関係性の中で成長が生しれない」といった相互 20 日 0 2 2 a) /wp/kenkyukensyu 你、https://juam.jp 4大学行政管理学会 :学会概要、

professional golf J. (2009): Peer effe ce:Evidence from cts in the workpla

can Economic Journ tournaments. Ameri

俗語)だ。 p」を足すことにし そんな考えから、

受いただけるよう、引き境をより多くの人々に享 続き微力ながら貢献して https://juam.jp/wp/im/juam/、閲覧日20 K., & Notowidigdo, M. 22年7月2日 ഥGuryan, J., Kroft, 員は大学を動かしてい

大先輩の背中を追いかけて | ttps://juam.jp/wp/ tournaments. Ameri im/juam/、閲覧日20 can Economic Journ 22年7月20日 al:Applied Economi 0 2 2 a

札幌市立大学 五十嵐茉莉子

かったので、善は急げとかったので、善は急げと |手研究奨励制度の記載を|い、情報共有し合った。|ェブサイトを検索し、若|ンで参加者同士が教え合 象で、10万円を上限とし励は39歳以下の会員が対 手研究奨励制度の記載を すぐ入会申し込みを送っ て奨励金を受けることが JUAMの若手研究奨 10万円を上限とし どとアドバイスをもらっ書いたらいいのでは」な タに対する命令)を先に 語で書かれたコンピュー くいかない」と全体チャ 課題を進めていてつまず いた部分を「ここがうま トで相談し、 (プログラミング言 「このコ

互いに学び合う仕組みを 大学事務職員の横のつな がりに応用すれば、業務 のデジタル化に関心を持 加者同士がオンラインで た。この経験を経て、参を完成させることができ 借りて、私も無事に課題 て乗り越えていった。 多くの人たちの助けを この経験を経て、 「教育DX」

課に異動して、以前から りがいを感じていたのだ

ていて、それはそれでや ど総務課で経理を担当 産休に入るまでは4年ほ

るということを先に決

若手研究奨励に申請す

す大学職員向けプログラ 切り、研究テーマを「ボ 研究奨励の申請締切まで のではないか、と考える そこから3月末の若手 申請書をなんとか書き ムアップ型DXを目 「研究」としてはまだ形 た。審査委員の皆様から択」の連絡をいただい りでこれから多くのこと 究の入り口に立ったばかいただき、自分がまだ研 趣旨のコメントを添えて は、やろうとしているこ との意義は理解できるが

の構築とその有効性検 になりそうな論文を取り 改めて実感した。 を学ぶ必要があることを 奨励金を活用して参考

学習コミュニティ「co りして読み進め、11月に りして読み進め、11月に demp(こでんぷ)

X」という表現を使った 導入するなど多額の予 のは、大型のシステムを 討」として応募した。 「ボトムアップ型D 日々の業務を見 るにあたって、プログラ を立ち上げた。

う言葉はこと数年で一気 デジタル技術によるビジ ンスフォーメーション: に浸透し、文部科学省も べきだと考えたからだ。 のボトムアップで進める を動かす現場の職員から DX (デジタル・トラ

て関心を集めているワー ドなので、そこに乗っか らせてもらうことにし の推進を求めてきていがら大学にデジタル活用 X」という表現を使いな 「研究 D い経験を積み、現在は新て、教学系を中心に幅広 報・入試・教務を担じ 学部・研究科の設置を 国立大学の事務職員 ている。勤続13年ほ

まずは私の背景を説

義、 ② J U A M で 行 う 研

行にも明確に役立ってい

今でこそ、業務や家庭

ぐ

本業/

広

活動の意義

国立大学法人一橋大学 木村

ている。勤続13年ほどにている。勤続13年ほどに 高等教育関係の修

修課

る。このように、 の一員として、会員の は学会誌編集委員会委員 やその他いくつかの 分を持ち、自身の科芸 の非常勤研究員という う研究活動を支援して プロジェクトに参加し いる。また、JUAMで 業務時間外には、

> 具体的には、 の知見を提供

研究者

もちろん、

それらのご批判には可能 ことには限界があるが、

【ご

判を頂戴することも多

会員としてできる

宿 婚

【ご宴会・ご会合】

り、内外から様々なご批も改善すべき点は多々あ

泊】 礼】

HOTEL, BANQUET & RESTAURANT

P.ンパレス

日本私立学校振興・共済事業団 札幌市中央区北1条西6丁目(道庁南側)

ご婚礼・ご予約は 🖍 011(261)531

http://www.hotelgp-sapporo.com/

あろう。

なものである。

動とのかかわりは多 援したりと、私と研究 員・職員の研究活動を 究活動に従事したり、

等は、

自ら研

大学職員としての職務遂 れた知識・スキル・経験 してくれるだけでなく、

てきた。私は一研究者と つながっていると考えて会をよりよくすることに Researchmapをご参 研究活動については、 る。なお、私の具体的な などについて調査・分析 実のあるものとするため 論や将来像が多く語られ 実に基づいていない理想 生み出された知見は、社 援、について私見を述べ 究活動の意義とその支 して、そのような議論を 人事異動制度の運用実態 また、その過程で得ら 私の研究活動を通じて (1)大学職員が行う研究 これまでの大学職 人生を彩り豊かに 論文の形で公に 必ずしも事 大学職員の してきた。 滑な意思疎通ができ、効の慣れ親しんだ構成・展 となり、自信をもってコれらをチェックする際に メントすることができて 研究活動の一貫として日 日常的に行う。これら ジェクト申請書など、読 学職員としての基礎的ないる。なお、これらは大 が進められると実感して と協働する時には、相手 ている。また、他者のそ 学会発表と極めて類似し それらについての説明を するための書類作成や、 資料や予算要求書、 る。大学職員は、委員会 いる。そして、特に教員 み手に意思を伝えて説得 わずもがなである。 職務遂行能力の保有・ 率的・効果的にものごと 々行っている論文執筆や 作業内容としては、 理解できていないと、適かった。そして、それが であり、入職直後には、 動を通じて、実際にそのいことに、自身の研究活 ある。そして、ありがた 動を開始したきっかけで 研究活動を行 ないと思うようになっ 切な研究者の支援はでき うに語ってくださった 身の研究をとても楽しそ 署に配属された。その際 この業界に入ってきた口 だったわけではない。私が、入職した時からこう での時間以外の多くを研 験し理解したいと考える が感じている楽しさを経 かしさを感じることが多 きていないことに、もど らく表面的にしか理解で に 交流することができる部 幸運にも多くの研究者と 自身は、研究者が好きで 究活動に費やしている に至った。これが研究活 そのため、自身でも 多くの方々が、 その楽しさを、

おそ

る。

現時点では地区別研

会が充実している点であ

究会以外に12種類ものテ

ご自

一由である。

研費

身

員研究では、 いる。

一(2021)「大学改革 一(2021)「大学改革 の課題」『教育学術新聞』 1号を参照された :研究研修委員 るものが多いので、「 は名称に e」に何という テ みたり、 AXI ES

一若手職員の自分では経してきた。本務においてなど、多くの恩恵も享受

effect)

JAMには、様々な世 1ect)」という5。

様々な世

り、先輩方との交流を通験出来ない様な機会があ

なりたい」「あの人のように

代の会員が仲間として支

来るなら私も出来るかも

先輩方との交流を通 職員としてのキャ

職員がいなかったら大学ないだろう。だが、事務 さが出るか、と考えた。 えるか、教員(研究者) 運営は成り立たない だろうが、事務職員を主 と考えるかは視点による 大学の主役を学生 職 考 メンバ 2022年7月現在、

003年度には「大学行文が掲載されており、2

と考えている。

の真ん中2文字の「mpus(キャンパス) 中身のような裏方を指す「中の人」(着ぐるみの る m a 主な活動場所はSI

分からないねー

だったと感じている。

いつか私が定年退職を

事例が重要な素材とな 後者においては具体的な ことはとても幸運なこと

私にとって、

一ルモデルがいたって、上田さんと

は、

学行政管理という領域

AMが対象としている大

ルが低い点である。JU

ら研究が進められるが、は、理論と実践の両面か

<u>る</u>

の分析に加

わっていた。

いうロー

大学職員現状意識調査」 政管理学会を対象とした

究活動を開始する

見当もつかないが)、た年が何歳になっているかの頃(その頃には定

報告が歓迎されており、

る。

JUAMでは事例の

った一人でもい

いから私

身が企画した研修活動な

ただし、

若手は、

日々の業務や自

どの事例を、

一定の様式

ら参加希望の連絡を全国 たメンバー には、このような投稿を内で最初に目にする場所 c od e mpに加入し 付けてある。 が S l a c k

いいな、という思いで、の背中を見て何か感じ取

ところ、立ち上げ早々

立ち上げ早々

ネットワークのSI

JUAMのメーリ

odempは「手の \*

を送っていきたい

これからの大学職員人生

ットを身につけることが

できる。蛇足ながら、私

る。以下のような活動に

支援を行うことで、J 気軽に参加できるような

の活動をより活性

しい活動を計画中であ に達成できるような、新 しても、これらを部分的

で、研究報告のフォーマ に沿って報告すること

とになるので、私個人となるご批判をいただくこ

あり、

既存グループ内で

このような属性を持つ方

は少数派の女性である。

々が、興味のある活動に

反応

の良さに驚いた。 各地から受け取り、

「待ち」の姿勢だけで

DXの取り組

る

リストと、公立大学職員 a c た 是かふくらんで盛り上が ともあれば、絵文字 立8人、公立11人、私立る。所属大学の内訳は国 いる。 で全国各地に散らばって 人で、北海道から九州ま20人、その他(OB)1 投稿もある。 のリアクションだけでや ミングでチャットを書き 次大会に参加したメン り取りするような軽めの 込んでいる。ひとつの話 ckで、思い思いのタイ けしてもらったりもし codempには40人の から発表者の方に声掛 UT推進協議会) ーが参加してい シ バ 年 大 a て、相互これがったりして、相互これがったりし です) えって話しづらかったらなくても大丈夫です(か ミュニティです。 教えたり教えられたり、場所ではなく、お互いに 方的な知識の提供がある うれしいです!敬語じゃ 下関係のないフラットな と に参加していただけたら コミュニケ するのはもちろんのこ 問したり情報提供したり を目的としています。質 調べたり、 分からないことを一緒に もちろん敬語でも大丈夫 指しています。できるだ 「教師→生徒」という一 本コミュニティは、上 本コミュニティは、 「今日はこんなこと

学事務局の業務をDXに めよう」を合言葉に、大 よって改善・効率化する たらいいな、と思ってい持に繋げられる場になっ ます 告してモチベーション維を勉強しました!」と報 私の若手研究奨励の期 (一部省略) \*

大学には個別に連絡 を積極的に発信し

jp)

望者向けの連絡先 iga rashi.mariko@juam. (codemp参加希

職員向け研修の事例報告 も、趣味のクイズを活用 を過去に行っ して企画・実施した大学

弘志 なネットワーク上で自身 保たれている。このよう て会員間でのつながりが の成果を報告すること しており、それらを介し 区に地区別研究会を設置 の会員を擁する点であ 自発的に集った千名以上 第2に、全国各地から AMは全国8地

- 学習を支援し合える場

という点は大きなメリッ 研究活動の場はJUAM 務家に成果を届けられる 私にとっては、多くの実 研究をテーマとしている できる。特に、大学職員 を中心としている主な理 大学職員に届けることが トであり、それが現在も 第3に、テーマ別研究 それを全国の多くの だし、それらの方々に、 適切なアプローチがどの も興味のある活動に参加 される研修等も多くなっ 区研究会等を通じて、そ 参加するための第一歩を JUAMでの研究会等に できるようになった。 れらの機会を提供しうる ている方々に対して、 たるものは、情報入手や 踏み出してもらうための てきたため、 最近はオンラインで開催 点にあると考えている。 人的交流の機会が限られ AMの存在意義のうち最

る。 性への支援 少数派である、若手や女 ②既存グルー JUAM内では、 -プ内では . と れ 感している。

会への参加を通じて、

た方々も、テーマ別研究

いる。新しく会員になっ

ーマ別研究会が活動して

職員との交流を得やす 味関心が似通った他大学

大きなメリットで

心をこめたおもてなし。

ようなものかは、依然と されている方々への支援 私個人としては、JU 地方在住者 地. た 場の創設 ٤ ンプッ 業務時間外に

して未解決の課題であ メン して難しい。そのため、独学で行うことは往々に 系的な知識を定期的にイ れを理解してもらうため という傾向があるように には、アウトプット偏重動を行っている大学職員 があろう。 を他者に適切に届け、 感じている。成果や主張 成果として評価されな に適切に位置づけられて れが現時点での知識体系 報告されたとしても、 いなければ、それは研究 合える場が必要だと痛 何らかの新しい発見が 自戒を込めて言う バー間で学習を支 その基盤となる体 トすることが必要 に研究活



かしこまらず

職員の立場で研究に取り

定年退職されたが、大学

ら

組んでいた大先輩でもあ

に所属することには、 を行ううえで、 ーションを目

くところだ。

本稿冒頭で触れた上田

て成果を取りまとめてい 理学会誌への投稿に向け

業務と並行

た研究活動を通じて、

間は今年6月末で終了

これから大学行政管

きている。

くつかのメリットがある 究の作法を徐々に身につ けてきた。その経験か 楽しさを味わうことがで 大学職員が研究活動 大学職員という 良い意味で研 して行ってき 研 よりよい場にしていきた

る側だったので、これは少し前までは私も批判す 因果応報と受け止めてい いと考えている(なお、 直接的・間接的にいた 果、いくつもの強固なつまでの活発な交流の結

言させていただきたい をお借りしていくつか提 方向性について、この場 ふまえ、 J U A M 改善の だいているご批判などを ていては、無責任との更 言いっ放しにし 新しく入ってきた若手で あるように感じている。 属性を持つ方々が新規に 固であるがゆえに異なる ちろん大きい。しかし、 性化に資するところは、 が、 J U A M の 活動の 活 る。そのようなつながり 具体的には、この業界に 既存のつながりには、 ながりが形成されて 入りづらいという一面も 強

々のご連絡をお待ちして興味がある若手職員の方 えている。 ち必要となる、定期的 させることができると考 つ体系的なインプットのち必要となる、定期的か ③アウトプットに先立

研修や交流の機会が制限

①地理的な要因から、

いる。